



第43号

第十四回海外旅行

花一杯のニュージーランドへ

専門 24 中川 悦

平成十二年度の海外旅行は、平成十三年三月六日から十三日までの八日間、夏のニュージーランドの南島西部を訪ねる旅となった。同窓会の海外旅行としてのニュージーランド旅行は平成四年八月に続いて、二回目。

◎一日目 石川悦子副会長が団長の一行十九名は、三月六日の十七時に成田空港を発ち、約十時間でニュージーランド南島第一の都市クライストチャーチに翌朝到着した。時差は四時間。入国審査後、バスにて市内見学。ゴシック様式のイギリス国教会大寺院の高さ六十三メートルの尖塔が美しい。ここで全員で写真。



大聖堂前

クライストチャーチの一般家庭訪問は、今年度のガーデン・コンテスト最高賞を受賞したケット夫妻宅で、庭には四つの池、温室、ベコニア・フクシア小屋などがあり、一目で見渡せないほどに花があふれている。花の種類

類も三株を越える。一年草と二百鉢、特にベコニアとフクシアは、特別賞を受けた力作で、珍しい品種が揃っていた。美しい池に囲まれた家は、家族四人が生活できる最小限のスペースが、すっきりとしたインテリアでまとめられていた。笑顔の美しい夫人と友人の方々に、きれいなテーブルクロスに美しい銀食器のセットでのティーサービスが用意され、手作りのクッキー、クリームたっぷりのプチケーキに紅茶、コーヒーのサービスを受け、長旅一日目の疲れがいやされた。

学園で、森本静子・武也両先生のご指導によるティーパーティーが懐かしく想い出された。◎二日目 列車に乗り、窓から深緑に包まれた大きな樹木や、道ばたに延々と続くルピナスの

花の群生を見ながら、カンタベリー平野を抜け、西海岸最大の町クレイマウスへ。取り立てて見どころはなかったが、氷河を抱いたダイナミックな地形が展開するフランツ・ジョセフ氷河での夕陽の美しさが脳裏に残った。

◎三日目 最大の見どころ、氷河遊覧飛行。街の中心から十分位歩いた所のヘリポートで一機四名に分かれて乗り、上空からクレパスを眺め、約二十分で広大な展望の氷河に到着した。強風に吹かれながら、大地を踏みしめて数分の展望を楽しみ、やがて帰路について。バスに戻り、川や溪谷を縫うようにして、昼食のバーベキューのレストランに到着した。ここで石川団長が転倒されたので、別行動となった。食後、静かな湖畔のリゾート・タウンのワカナに向った。ホテルは湖畔に面し、各室は落ち着いた雰囲気、すでに秋が近く、ところどころ紅葉し、ポプラが美しい。夕食時、三月生れの二人のために、ウエイトレスが二人がかりで、縦五十七センチ、横七十五センチ、高さ十五センチもある大きなチョコプレートと生クリムでデコレートされた、ふんわりとしたバースケーキを運んできた。ろうそくの数は？全員でハッピーバースデーの合唱で祝福し、皆、感無量。◎四日目 湖面に朝日が輝く美しい朝を迎え、バスにて出発。サザン・アルプスの山並に抱かれた美しい街のアロータウンへ。アロー川で約二百三十ポンド(十四キロ)の莫大な量の金を掘り当てられたゴールドラッシュ時代の博物館もある。今も砂金取りができる。ゴンドラに乗り、市内やワカティポ湖を見下ろせる四百五十メートルの丘の上で、ニュージーランド料理のピュッフエ・レストランで昼食。三十種類以上あるシーフードサラダ、数種のデザート。バラエティに富んだポリユームたっぷりの料理と景色を楽しんでから、市内見学とショッピング。メリノ・ウールの手編みセーターなど楽しんだ。

幻想的な美しさのツチポタル(発光器管を持った虫)を見学のため洞窟に入ると内部は広くボートに乗って奥へ進んで行くど、真つ暗闇に無数の青白い光が夜空の満天の星のように広が

とした洞窟の中、ロマンティックな体験をした。

外に出ると、夜空には満天の星、南半球の天の川の中心付近に、美しい南十字星を見ることができた。

◎五日目 テ・アナウ湖畔では日本人には全然会うことがなく、車道に対向車がない。ミルフォードサウンド氷河が創り出した入り江を巡り遊覧クルーズ。深い藍色の海面から岩山がそそり立ち、落差百六十メートルの滝が見えた。昼食は船内で幕の内弁当と味噌汁を味わい、自然の美しさに胸を打たれながら、クルーシングを楽しんだ。

バスにてクイーンズタウンへ。途中で味わったポーキーポーキーと言うアイスクリームは、昔ながらの味が美味しかった。市内見学。ショッピングを楽しみ、夕食は五十センチ以上もある、ポイルされたロブスターにバターソースをかけたもの。あまりの大きさに「マナーどころか、格闘して満腹した。これが南島の最後の夜であった。」

◎六日目 エスコートの加藤さんとお別れし、空路、ニュージーランド最大の都市、北島のオークランドに向かった。オークランドは、帆の街という愛称で

知られている。青い海の湾内周辺は、無数のカラフルなヨット、ボートが停泊している。イーデン山の頂上からは三百六十度の大パノラマで、市街地と海が楽しめる。人なつっこい子供達が話しかけてきた。

◎七日目 早朝出発し、帰国の途へ。今回の旅は一泊ずつの移動のため忙しかったが、年齢、学校の違う卒業生が、まるで家族のように仲良く楽しく旅をすることができたことは、日頃の

後、夕食は日本料理店で。JR 駅にある「大清水」の販売機の下部にある氷河の写真は、ニュージーランドの氷河だと現地添乗員の加藤さんから聞き、駅での電車の待ち時間を嬉しく思い出しています。

今頃、あの沢山の羊達はどうしているかな、凍死してしまうほどかな、と心配ばかりしています。今までの旅行での最高でした。

(元・小・中高・短大の音楽講師) 岡 千枝子先生(旧・佐賀)

自然が美しく雄大ですね。 ガーデニングの素晴らしいこと、氷河に行き歩いて良かったこと、とてもよい天気にも恵まれたこと。

ヘリコプターで氷上散歩



同窓会のもとまりのお陰だと思われ。成田に到着後、再会を約束して各自帰路へ。お疲れさまで。

◎ツアー参加者の声

大谷映子(声楽家)さんの放送で、素晴らしいところと度々聞いていましたが、「聞きしに勝る」とは、まさにこのことだと思いました。

山々の谷間の氷河。青空と青い海の美しい自然。そして、日本でお馴染みの花々の一回り大きい、鮮やかな色、今も目に残ります。折があれば、再び訪れたいと思います。

地球に優しい国のように、素晴らしい自然と空気を満喫しました。

出発前、風邪で体調を崩しての参加でしたか、雄大な風景の中で、すっかり元気を取り戻し、楽しい旅ができました。

よい友達を持っているのは最高の財産。次の機会、このような企画がありましたら、お知らせ下さい。

ジョセフ氷河でヘリコプターに乗り、素晴らしい眺めに感動。ヘリコプターに生まれて初めて乗れて良かったと思いました。

美しい風景、楽しい旅でした。 女16 宮岡千鶴子

山々の谷間の氷河。青空と青い海の美しい自然。そして、日本でお馴染みの花々の一回り大きい、鮮やかな色、今も目に残ります。折があれば、再び訪れたいと思います。

地球に優しい国のように、素晴らしい自然と空気を満喫しました。

出発前、風邪で体調を崩しての参加でしたか、雄大な風景の中で、すっかり元気を取り戻し、楽しい旅ができました。

よい友達を持っているのは最高の財産。次の機会、このような企画がありましたら、お知らせ下さい。

専24 飯田 芽子

来年度

海外旅行の お知らせ

お知らせ

平成14年の海外旅行が左記のように決まりました。要項と申込み書をご希望の方は、学園同窓会宛ご請求下さい。(要返信用切手80円)

期 日 平成14年5月15日(水) 22日(休)8日間
訪問地 オーストリアウィーン チェコ(プラハ) ハンガリー(ブダペスト)

旅行代金 33万7千円
定 員 20名(若干の増員可)
申込期日 平成14年2月15日(月)
申込金 3万5千円 (旅行代金の一部)

取扱業者 (株)アサヒトラベル・インターナショナル
☎03-3291-4041
同窓会担当者 石川悦子(女) 中川 悦(専) 相賀静子(医)

同窓会独自の安全ゆったり企画です。お一人で参加されても充分お楽しみ頂けます。奮ってご参加を。

イタリアの文化遺産

短44 学園理事 服部 津貴子

私は現在、服部学園において、栄養士と調理師の育成をするかたわら、子供たちの将来の健康を守るための食育の普及や、健康食材に関する研究等を行っています。また、時には海外からの要請で、日本の食文化伝達のために、世界各地で行われる食生活のシンポジウムにも参加し、講演活動を行っております。

年に数回程海外へ出て、その国の文化に親しみ、いろいろな方々との交流を深めてまいりました。いつも外国へ出て感じますことは、日本の良さ悪さを知ることができるといふことでしょうか。

昨年の五月に、国連の主催で、イタリアのミラノの近郊にあるストレイザーという美しい街で、二十一世紀への健康な食生活をめざすシンポジウムが開催されました。世界各国より大勢の人々が集まり、会議が行われたのですが、その地で私は大変感



銘を受けたことがありました。会議の流れで立ち寄った先が、マジョーレ家という伯爵家先祖代々保有する、マジョーレ邸の邸宅でした。当主のマジョーレ氏は世界の大富豪ナンバー4に数えられる人物で、その邸内には目を見張る素晴らしい多くの調度品が、四百年以上に渡

つて代々受け継がれております。建物や庭園は手入れが行き届いて、きれいに整備され、その昔、ナポレオンが宿泊した由緒ある部屋など、二〇室を廻ることができました。部屋数は二二〇室程で、今でも、邸内の管理清掃をする人々が八〇名程働いているとのことでした。この他にも、数カ所でのような邸宅を持つているとのこと。四百年以上もの間、このような、文化的遺産を、個人で保持し、実際に住み続けることのできるイタリア人とイタリア国家の、自国の文化や文化遺産に対する、前向きな姿勢には、心より感動いたしました。税制の違いがありますが、先祖から受け継いだ資産を国に任せず、個人が大切に守っているのです。

マジョーレ伯爵家中庭にて (ストレイザー市) 二十一世紀を迎えた日本も、これから、もっと文化を大切にしたい、日本の良さを見直すべ

きではないかと思えます。

吉川木曾子さんが 総務大臣賞受賞

専25 青木 純子

春の叙勲に伴い総務大臣賞の受賞式が六月十八日国際フォーラムで行われ、専25年卒吉川(高橋)木曾子さんが、新潟県で七名中の一人として受賞されました。私どもの級(家庭科)は卒業生十三名ですが、毎年の観劇会には最低八名は協力参加しており、この度ももちろん吉川さんは新潟から駆けつけて下さいました。その折「来週もまた上京するのよ」との一言で初めて受賞を知りました。それは級の誇り、泉に載せたいと申しましたら、絶対にはないでとことでしたが、編集期日の関係で、承諾なしに会報でお知らせすることになりました。

吉川さんは、在学中は桃園寮生で、卒業後はすぐ新潟の中学で保健体育の教諭をし、同じく中学の先生と結婚。御主人が管理職になられたときに退職し、総務庁の行政相談委員となられ、現在まで活躍しておられます。一方では、木彫りを習得し、公



左から二人目、吉川木曾子さん

偉大な名誉会長

白井スエノ先生

会長 高女13 湊 くに



故 白井 スエノ先生

平成十三年三月九日、夜の十時まで家族一同で団欒の時間を過ごし、「ではおやすみなさい」

学しました。昭和八年のことです。その後はお互いに自分のため、家のため、学校のために夢中で過ごしました。結婚、育児、戦争とつづきました。先生と同窓会の仕事で一緒にさせていたのは、昭和四十一年からです。

と各自部屋に戻りました。その後、お嫁さんが二階から降りてこられたら、お母さんが倒れていらつしゃつたとのこと。それが十一時、まるで夢のような話で周囲の者は皆、啞然とするばかりです。お電話をいただいて、「原因は心臓発作、九十四歳でした。」とうかがいました。

私が会長として先生に残っていたことを思い出します。学校を出たての宮原(白井)先生が大宮小学校の先生として勤務していらした時、私はその教え子でした。卒業する時、私の両親を説得して下さって、経専附属高女に入

私がお後を継いでから常に連絡は取ってまいりました。大宮小学校のすぐそばにある先生のお宅にもお邪魔しています。お宅の中には先生が歩きやすいよう、手摺りがつけてあり、思いやりがうかがえます。いつもお昼を一緒に、三時三十分までおしゃべり！栄養大初代学長香川綾先生の愛弟子で、家の建て方から

居間の掘りごたつ(すべて綾先生の教えにより出来上がった)の話、福岡から上京なさるの希望と...。話し出すと次々と止まることを知らない。

「先生、お腹がすいています」大笑いしてそれからお食事！そして帰る前必ず五分間ちよつと体操！一見優しく見えますが、筋道の通った強い強い先生でした。

二男二女、四人の母親でした。皆さん立派に成長されておられます。子供さんお孫さん達を中心にした暖かいお葬式でした。ご長男のご挨拶の中で「母は死ぬまで自分のことは自分でできる人、皆さんに迷惑をかけないで過ごしたいと口癖のように言っていた」と伺いました。胸が詰まります。最後まで、ご立派でした。

初代同窓会長の築き上げた同窓会、二代、三代、四代と前進しております。三日精神を実行に移し、みんなで力を合わせて「和」を中心とした先生の教えをしつかりと身につけて、進んでいきます。

平成十三年の観劇会を兼ねた総会には、ご長男ご夫妻に参加していただき、七百五十名全員

で、黙祷そしてご冥福を祈りました。本当にありがとうございました。

白井スエノ先生を想う

専24 黒澤教子

白井スエノ先生に初めてお会いした時の印象は、「物腰丁寧、地味で控え目な凛として芯の通っている女性」であった。

今思えば、白井先生にとつては公私に多忙を極めた頃であられたらうに、飾り気を感じさせない品の良さに心惹かれたが、その後もずっとこの印象通りだった。

経専時代から、学園に伝わる女性教育の中心課題は、「清潔、端正、品位」で、よく「礼儀正しくテキパキと。それでいて粗野に走らず、人前で憶せずにはいかず、堂々と行動できるような」と言われて来たが、さすが白井先生はその通りに生きてこられた立派な大先輩でいらしたとその後もずっと感服し続けている。

中高に在職時代、公立校訪問は重要な校務の一つであった。「私どもは私的資本(つまり私

学)に奉仕する気はない」と玄関弘いに合うことも少なくなかった。

訪問の道を拓くため、公立校(特に小学校)の職員室の雰囲気や実情について、良く教えを乞うた。学校訪問のみならず、地域社会の親達の風潮など。その情報は有難かった。特に公立小学校訪問は気遣いの要る嬉しいくない仕事であったが、先生に励まされ、勇気づけられ遮二無二頑張れた。

いつも東京文化の立場になって問題解決を考えようとする姿勢で、示唆鞭撻して頂いた。はつたりも甘言もなく誠実に母校を支えておられた。

或日、共働らきの話になった。「以前は子守さんが備い易かったけど、今は難かしいから大変ね。でも頑張つて下さいよ。それが社会を進めていく一つに繋がるのですからね。」三十年も前の事。

単なる励ましの言葉と聞いて、胸に響くものを感じた。女子の人間性の向上を図り、社会進出を目指した経専教育を、良く体して実践して来られた大先輩なのだあと敬服した。今でも白井スエノ先生は私の中でご健在でいらつしゃる。

総会・観劇会を終えて

高女22 伊藤 美和子

梅雨の最中さなかというのに、思わぬ晴天に恵まれた六月九日、芸術座において平成十三年度の総会と観劇会が行われた。

十六時、総会が始まる。

一、役員選出では、会長、副会長共に、出席者全員の拍手で留任が決定。役員代表の会長が、「私立校は同窓会の協力なくしては成立しない。和をモットーに皆手を取り合って、頑張りましょう」と力強くあいさつされた。

二、事業報告と計画では、本年度の事業として、九月に国内旅行、十月に「泉」発送、十一月に学園祭があり、会員のご協力をお願いしたいとの呼びかけがあった。

三、決算報告と予算では、平成十二年度の卒業生から、卒業時に終身会費を納入することになったための収入の変化と、それに伴った支出の部の積立金の大幅増額についての説明が丁寧に行われた。

四、森本理事長があいさつされ、

学園の近況などを話された。

議事終了後、湊会長より、名誉会長の白井スエノ様のご逝去のお知らせがあり、全員でご冥福をお祈りして黙祷。こうして、総会は定刻十六時二十分に終了。わずか二十分の間これだけの内容を処理できたのは、総会準備委員の方々の周到な準備によるものである。

さあ、観劇会の始まりだ。今回は、大藪郁子作「空のかあさま」、若くして自らの命を絶つた童謡詩人金子みすずの半生を、石井ふく子さんが母と子の愛情を軸にして演出されたもので、母親の愛情の深さを観客に強く訴えかけている。それぞれの立場で受け止め方は違うだろうが、孫を持つ身の私には、池内淳子演じるみすずの母親の気持ちに痛いほど伝わってきた。スライ

ドと朗読で流れる詩も素晴らしい、詩作を通してのみすずの人間像にも触れてみたいものと思

った。幕が下り、同窓生の方々は充

分に満ち足りたという表情で、三々五々と会場をあとにされた。企画をされた方、切符販売に全力をつくされた方、ご協力頂いた会員の方々、本当にありがとうございました。

支部だより

岩手県支部会開催

支部長 佐藤榮子

七夕に先がけた七月一日、森本晴生学長、相賀静子先生、黒澤敦子先生、中川悦先生をお迎えして、「オーベルジュタイム」で支部会を持ちました。

まず、学長から、学園の近況、新渡戸基金維持会の説明、加えてユーモアたっぷりの身近なお話もあつて、打ち解けた始まりとなりました。

卒業生は、思わず「肖やがりたい」の声が上がった木村正枝様(専16卒)ほか、短大、高校、医技と年代、部を越えて十三名が集い、同窓会ならではの顔合わせとなりました。

自己紹介では、厳しかった寮

生活や思い出深い失敗談も飛び出しましたが、学園で身に付けた知や技や心をそれぞれ職場や家庭に生かして来られたお話が続きました。

先生お三方の未だに衰えない情熱にも接して、楽しい中にも実のある会となりました。

もっと時間があつたらと、多くの方が思われたようです。これを機に、学園との繋がりが、同窓生同士の交流を大事にしていきたいと願い、又のお目もじを約して散会いたしました。



岩手支部会

専門部幹事新年会

幹事長 中川 悦

平成十三年一月八日(月)、新宿マイシティー八階「松澄」にて開催しました。

開会のあいさつ、自己紹介の後、会計報告などの議事が進められ、懇親会に移りました。和食に舌つづみを打ちながら、にわか学生時代にタイムスリップして、素晴らしかった森本厚吉先生、静子先生の教育等、想い出話に時間が過ぎました。福引きをして、再会を約束し終えました。

東京女子経済専門学校の一回生は、昭和六年に卒業、最終学年は、昭和二十六年三月で二十年間でしたが、最終学年の卒業生もはや「古稀」を迎えています。現在約六〇〇名の住所が分かっていますが、昭和十七年から二十一年卒業までの方々の住所不明者が多くなりました。御存知の方がいらっしゃいましたら、同窓会に連絡をお願いいたします。

同窓会事務室は、月・水・金十時から三時まで開いています。お気軽にご来校下さい。

同窓会の活動

平成13年度の活動と予定

○行事・他

4月23日 新幹事歓迎会

於 学園第二カフェテリア

5月26日 小学校部会総会

於 小学校講堂

6月9日 総会

観劇会「空のかあさま」
於 芸術座

7月1日 岩手支部会

於 岩手県東和町

9月30日、10月1日

国内旅行「草津温泉の旅」

10月14日 ホームカミングデー

参加

11月2日、3日 学園祭参加

平成14年5月15日、22日

海外旅行「音楽の都ウィーンと
チェコ・ハンガリーの旅」

○理事会実施状況

第一回理事会 4月19日

一、役割分担について

二、幹事会について

三、総会・観劇会について

四、平成12年度決算・13年度

予算

五、文化部報告

六、各部会報告

七、旅行について

八、その他

第二回理事会 5月28日

一、幹事会の反省

二、総会について

三、観劇会について

四、旅行について

五、文化部について

六、その他

専門部会

専25

青木 純子

秋雨がふりしきる晩秋の昼、
東中野日本閣に於いて経専部会
が開かれました。

昭和十六年卒業の方より最後
の二十六年卒業の方まで三十名
一列に向かい合って、評判高い
和食を一品、一品賞味しながら、
全員が一人、一人近況や想出話
など時間一杯までお話ししまし
た。

発足時より永年幹事長を勤め
られた篠原初江様のご欠席で、
感謝の意の花束贈呈がございま
せんでしたことは残念なことでは
ない。

来賓の同窓会副会長、長岡文
先生(医技)がご多忙の中ご出
席下さり、経専同窓生のような
気持と、すっかり打ち解けてお
話し下さり、最後までいて下さ
いました。

閉会后、グループ毎に庭園を
眺めながら語り合い、四時頃再
会を約して解散しました。

短大部会

短40 長井 康子

昨年は短期大学創立五十周年
記念の年に当り、同窓会は部会
が開かれる年でもありましたの
で、短大と同窓会短大部会との
協賛で、十月十四日(土)に厳肅な
記念式典と、和やかな祝賀パ
ーティーが行われました。

同窓生百三十六名はじめ、来
賓、学園関係、教職員、学生、
合わせて三百五十八名もの方々
が参加して、盛大に行われまし
た。同窓生は、北は北海道から
南は長崎県対馬の方まで全国か
ら。また、古い方から新しい卒
業生まで、年齢の幅も広く、沢

山の人々とお会いすることが出
来ました。

今までに、この様な短大の新
旧先生、職員と同窓生との出会
いの機会がありませんでしたの
で、短大のこと、学園のこと、
同窓生のことなど、それぞれ理
解して頂き、とてもよかったです
思っております。

パーティー終了後も、同窓生
の方々は、各学年ごとに分かれ
て、久しぶりの旧交をあたため
合せて、有意義な一日となった
様でした。今年は、同窓会、国
内旅行(草津温泉の旅)がござ
います。楽しい旅になるよう願
っております。

医技リブラ会部会報告

医28 相賀 静子

昨年十一月十九日、リブラ会
総会を例年通り桃園校舎で行い
ました。在校生(三年生)の参
加もあり盛会のうちに終了しま
した。

一部は特別講演です。六期安
達さんのスムーズな司会で、医
技校長・大森昭三先生の「高齢
化社会における臨床検査技師の
役割」について、内容を拡大し
て、「臨床検査に付加価値を」

また「医療チームの一角として
の活躍を」、今、話題になって
いる海外旅行直後のエコノミー
クラス症候群。老齢(六〇〜七
〇才)になるとアルツハイマー
症候群の増加があること。ヤコ
ブ病の異常蛋白質の証明など
など。多岐にわたったご講演を伺
いました。

二部は懇親会、五期白石さん
の絶妙な司会進行で会を盛りあ
げていただきました。在校生も
同席したので、キャリア組との
対話は卒業を前にした学生にと
っても有意義であったと思いま
す。

米国から帰国していた、五期
寺村さんも出席され、旧交を暖
めました。
最後に昨年度までリブラ会に
ご尽力いただいた、白石一枝様、
安達房代様、小栗豊子様にお礼
申し上げます。

今年六月九日に芸術座で本
学同窓会総会と観劇会が同時開
催され、リブラ会の方々にも多
数ご参加いただきました。十一
月には本学の学園祭があります
ので、またお会いできる方もい
るでしょう。
リブラ会総会は平成十四年秋
頃を予定しております。どうぞ
皆様学園にお出かけ下さいませ。

沿革

- 昭和 2年 女子文化高等学院を東京市本郷区元町(現文京区本郷二丁目)に創立する。役員は理事長に法学博士森本厚吉、理事・法学博士吉野作造、理事・医学博士橋本寛敏、学院長には森本静子が就任する。
- 昭和 3年 専門学校令により女子経済専門学校と改称する。初代校長に新渡戸稲造、理事長兼副校長に森本厚吉が就任する。
- 昭和 6年 現在地所在の成美高等女子学校を引継ぎ、附属高等女学校と改称し、新渡戸校長が兼任する。
- 昭和 8年 新渡戸稲造校長逝去により、森本厚吉が校長に就任する。
- 昭和 9年 東京都中野区の現在地に転移する。
- 昭和19年 東京女子経済専門学校と改称し、経済科・保健科・育児科を設置する。
- 昭和21年 英文科を設置する。附属幼稚園を開設する。
- 昭和22年 学制改革により、附属高女は東京経専中学校および高等学校に分かれ、校長に森本厚吉が就任する。
- 昭和23年 東京経専小学校を開設し、校長に森本厚吉が就任する。
- 昭和25年 森本厚吉校長が逝去したため、森本静子が校長・園長に就任し、橋本寛敏が理事長に就任する。
東京文化短期大学(家政科)を設置し、学長に森本静子が就任する。東京経専高等学校・同中学校・同小学校・同幼稚園を東京文化高等学校・同中学校・同小学校・同幼稚園と改称する。児童研究所を新たに設置する。
- 昭和26年 学校法人東京文化学園を設立、理事長に橋本寛敏が就任する。従来の専門学校は発展的に解消する。
- 昭和27年 短期大学内に医学技術研究室を開設する。
- 昭和30年 東京文化医学技術学校を開設する。
- 昭和37年 森本厚吉博士の銅像を学園内に設置する。
- 昭和39年 森本武也が学長に就任し、森本静子は学園長に就任する。浅間高原寮を長野県御代田町に開設する。
- 昭和46年 任期満了のため橋本寛敏理事長が辞任し、大浜英子理事が理事長に就任する。
- 昭和47年 医学技術学校長に医学博士守屋博が就任する。
- 昭和49年 幼稚園長・小学校長に鈴木光雄が、中学校長・高等学校長に土居孝輔が就任。理事長に大久保安威理事が就任する。
- 昭和51年 創立50周年記念事業の一環として杉並区に校地を購入。東京文化医学技術専門学校臨床検査学科と改称。
- 昭和52年 創立50周年記念式典を挙行。東京文化学園五十年史刊行。
- 昭和53年 幼稚園長・小学校長鈴木光雄の逝去により、幼稚園長に森本光生が就任し、小学校長に永山義夫が就任する。
- 昭和54年 幼稚園・小学校新校舎が、杉並区和田一丁目に竣工する。
- 昭和56年 医学技術専門学校長に医学博士福岡良男が就任。旧二号館、四号館、七号館を解体し、跡地に体育館を建設。
- 昭和57年 小学校長に橋本正礼が就任する。
- 昭和59年 森本武也が名誉学園長に就任し、短期大学長に理学博士佃正実が就任する。幼稚園長に橋本正礼が兼務する。
- 昭和61年 桃園寮を閉鎖し、新校舎の建築を始める。短大八号館を解体。同窓会館を新築する。
- 昭和62年 桃園校舎を新築し、専門学校東京文化学園ビジネスアカデミーを開設し、校長に福岡良男が兼務する。医学技術専門学校を桃園校舎に移転する。短大二号館を増築する。
- 昭和63年 中学校長・高等学校長に黒澤教子が就任する。
- 平成 4年 医学技術専門学校長に医学博士本間伊佐子、ビジネスアカデミー校長に大久保忠昭が就任する。
- 平成 6年 中学高等学校長に小林弘志が就任する。
- 平成 7年 短期大学長に理学博士村松一郎が就任する。小学校長に山田庸夫が、幼稚園長に丸 翠が就任する。
- 平成 8年 新渡戸稲造博士の銅像を学園に設置する。
- 平成10年 幼稚園長に山田庸夫が兼務する。
- 平成11年 大久保安威が顧問に、森本晴生が学園理事長に就任する。医学技術専門学校長に医学博士大森昭三が就任する。
- 平成12年 幼稚園長・小学校長に福田景三郎が就任する。中学高等学校長に中本孝が就任する。
- 平成13年 短期大学長に森本晴生が就任する。

“ VERITAS VOS LIBERABIT ”

「真理は汝等に自由を与う」(新約聖書ヨハネ8章)



創立者 森本厚吉先生



初代校長 新渡戸稲造先生

あなたの良き後輩としてふさわしい

学生・生徒・児童・園児の

ご紹介を!

卒業生の皆さんへ

理事長 森本晴生

昭和二年に女子文化高等学院として創立した東京文化学園の同窓会は、全国に支部31か所、同窓会員数二万余となりました。

創立者森本厚吉先生、初代校長新渡戸稲造先生の建学の3H精神を實踐し、各方面で社会に貢献されている卒業生の活躍は、後進の者の誇りと、大きな励ましとなる。

また、卒業生のお子さんやお孫さんが母校に入学され、伝統ある校風と、新時代に即した教育を受ける姿を拝見することは、学園にとって力強いことで、皆様の信頼にこたえるよう教職員一同努力しています。

同総会の皆様には、学園祭、総会、クラス会など折にふれて学園に来ていただき、明るい校舎と充実した教育環境に、高い評価をいただいております。

皆様のご協力のもとに学園は着々と発展を続けております。十一月二日、三日に開催される学園祭では毎年恒例の「学園の歴史展」も行います。

多数の皆様のご来園をお待ちしております。

東京文化学園
入学案内無料頒布
(小学校は有料)

入学案内をご希望の方には、無料で頒布しております。各学校の教務にご請求ください。

短期大学

生活学科(食物栄養専攻)の実現へ向けて

今、短期大学は大改革の時を迎えています。近來の短大離れや4大志向による入学希望者の減少の中で、学生が来なければ良い教育もでき得ないと、より魅力ある短大作りの具体化をめざしています。

そこで、来年4月から、学科名を「生活学科」とし、コース制から「食物栄養専攻」、「生活文化専攻」の二専攻制を出発させます。

食物栄養専攻では栄養士養成はもとより、「食と健康の東京文化」を強くアピールできる教育をめざします。

生活文化専攻では、高齢化社会



調理学実習

に正面から向き合った生活の在り方を学び、新たな展開としての「福祉」関係資格の導入、特に来年度からのホームヘルパー2級資格取得を、既に申請に向けて当該省庁との折衝に入っています。

この厳しい現状にあつて、本学の良さを承知されている卒業生の皆様には是非東京文化短期大学への進学をお勧め下さい。

短大 就職・進学状況

少子化に伴う4大志向が進む一方で慢性的な不況が続いています。短大希望者の激減、就職難によるフリーターの増加、といった大学環境を巡る大激変の中に本学もさらされています。

しかし、本学では、①1年次から外部の専門講師を招き、徹底した就職講座を行っている、②人数制の特性を活かして学生の個性に対応したアドバイスを行っている、③学生と教員の日頃のコミュニケーションを大切に、卒業後も含めた進路・就職指導を行っている、という、3つを柱とした活

動を行ってきました。

おかげで毎年9割近い就職内定率を得ており、短大の中では高い就職率を誇っています。特に栄養士に関しては、本年度は最終的に34名の学生が栄養士として希望し、全員が栄養士として就職できました。注目したいのは、今までほとんどいかなかった保育園に就職した学生が9人もいたことです。中には複数の内定を得た学生もおり、これからも種々の分野を開拓すると共に栄養士就職率一〇〇%を維持していかねばならないと考えています。

また、「余暇生活相談員」「フードスペシャリスト」資格も就職の際の重要な資格として役立つています。さらに、来年度から生活文化専攻でホームヘルパー2級の資格もとれるようにカリキュラムが変わる予定なので、就職には心強い資格と期待されます。

四年制大学の三年次編入を希望する学生も増加傾向にあり、短大ではそれについても力を注いでいます。現在のところ、女子栄養大学、麻布大学など8大学が本学の指定校となっています。本年度は四年制大学や専攻科、専門学校等に23名が進学していきました。

教職員一丸となって魅力ある短大を作り上げるよう努力すること、就職率や進学率をいっそう高めるものと信じています。

(就職指導室)

■公募推薦入試

	1期	2期
願書受付	2001年11月 1日~11月 7日	2001年11月29日~12月 5日
選考日	2001年11月10日	2001年12月 8日
合格発表	2001年11月10日	2001年12月 8日
手続締切	2001年11月19日	2001年12月17日
必要書類 および 試験科目	●面接 入学志願書・調査書・推薦書	

■筆記入試

	1期	2期	3期
願書受付	2002年 1月22日 ~ 1月29日	2002年 2月15日 ~ 2月22日	2002年 3月 7日 ~ 3月14日
選考日	2002年 2月 1日	2002年 2月26日	2002年 3月18日
合格発表	2002年 2月 2日	2002年 2月27日	2002年 3月18日
手続締切	2002年 2月 8日	2002年 3月 6日	2002年 3月23日
必要書類 および 試験科目	●国語Ⅰ・Ⅱ(古文・漢文を除く)、生物ⅠB、化学ⅠB、英語Ⅰ・Ⅱの4科目より1科目選択 ●面接 入学志願書・調査書		

学生募集要項

生活学科女子150名

■食物栄養専攻
(栄養士免許)
(フードスペシャリスト資格)

■生活文化専攻
(余暇生活相談員資格)
(フードスペシャリスト資格)

同窓会の皆様、お知り合いをご紹介ください。
(窓口: 学長・教務部長)

お問い合わせ
短期大学教務部
03-3381-0197

医学技術専門学校

『ヒトと学校の二人三脚』

教務主任 小谷野 智子

「東京文化卒業なら心配いらないわ！」私が学生の頃、よくかけて頂いた言葉である。私たち学生は少なからずそんな言葉にプレッシャーを感じながらも、母校の何か、とにかく凄いなもの、誇りに思い、期待に外れないよう努力したものである。そんな母校に非力ながら関わらせていただき、凄いなものの正体を見ることになった。

医療情報誌上で、学会で・・・、母校の先輩方の活躍が光っていた。学校では、学生のために出来ることを模索した先生方の豊富な意見が飛び交っていた。本校を選んで学ぶ学生を、楽しい学校生活環境上で国試や就職クリアに導く責任は重い。現在は、ほぼ全員が、卒業して受験する国試、その合格率も95%以上であり、就職率も厳しい社会情勢に負けず100%を維持している。この結果が広報に活きて、応募者数も安定している。

5日制の導入や、コンピュータ演習時間の大幅拡大が実現され、今後は、遺伝子学や薬理学、介護学なども充実することになる。学生は、常に磨き上げられた気持ちの良い校舎で、度重なる検討の末選ばれた味・量を両立したお弁

当に大満足である。教務内のコンピュータシステムは目を見張る改良を遂げ、仕事効率アップに留まらず、試験に対する万全な準備が整いつつある。新たに病院の現場経験とコンピュータ知識の豊富な専任講師を迎え、ホームページ短期完成が実現され、広報活動もより充実してきた。来年からはいよいよ男子に門戸を開く。本校五十年の歴史に初めてこの試みは、多くの方から期待をいただいている。

専門学校全体の社会的評価面でも大きな展開があった。平成六年に専門士の称号が創設され、平成十一年度からは大学編入制度が整い、本校卒業生の編入・進学も増えてきて、好評である。

学校は様々な方向から多くのヒトたちに支えられ今、好循環にある。しかし、後十年もすれば、選り好みさえしなければ、希望者の誰もが大学進学できる時代が来ると言われている。企業内教育をカリキュラムに組み込み、道徳的

判断を養いながら、実学的・即戦力を重視した専門学校らしさを表現することにより、職業観が薄いことを指摘されている大学教育

に差をつけられるかも知れないと思う。医療事故防止が叫ばれるようになり、各医療専門分野にさらに高い教育が求められ、医師から医療行為専権の委譲が思案されてきている。今こそ、教育機関の教育工夫が試され、活かせるチャンスなのである。

学生が、卒業生が、学校に携わるスタッフが輪になった「ヒト」と、学校との二人三脚が必要なのだ。植物に例えらば、花粉である卒業生が様々な場所に降り立って次世代の種を持つ重要なきっかけとなり、その命は種である新入生に引き継がれる。苗床である学校で、永遠に素敵な花を約束して

平成十三年三月卒業生の就職について

二十一世紀に入り最近の医療はますます高度化が進んでいます。高齢者がより生活の質を大切に、考える日々が望まれる折りですが、医療費の削減はより強力的に進められ、理想の実現は難しくそうです。社会の色々なニーズにより卒業生の進路も多様化しています。若いエネルギーに満ちあふれた卒業生は今年も目的に向かって歩みだしました。四十九回生の進路をご紹介します。

千葉大病院(1) 東京医科大学
科大病院(1) 慶応大学病院

- (2) 慶応大学病院教室(3)
- 慈恵大学病院(1) 慈恵大学第三病院(1) 慈恵大学戸部病院(1) 昭和大学病院(4) 防衛医科大学病院(2)
- (1) 千葉県立がんセンター
- (1) 東京都立駒込病院(2) 川口市立医療センター(1) 武蔵野赤十字病院(1) 荻窪病院(1) 福生病院組合(1) 北青山病院(1) 皆成病院(1) 宇都宮病院(1) 寿泉堂総合病院(1) 東戸塚記念病院(1) 横浜脳神経外科病院(1) 齊藤病院(1) 慈恵会病院(1) 川崎共同病院(1) 板橋中央グループ病院(1) 戸田中央研究所(1) 西東京総合病院(1) 愛育病院(1) 至誠会第二病院(1) 井上病院(1) 東京HARTクリニック(1) 大塚東京アッセイ研究所(3) 保健科学研究所(1) 榎エスアールエル(2) 榎エスアールエル東京ラボラトリー(1) 帝人在宅医療東京(1) 榎ヤマトロン(3) 久光製薬(1) シマ研究所(1) 理化学研究所(1) 理化学筑波研究所(1) 関東健康管理センター(1) ケイティメディカル(1) 東健メディカル(1) 南エムエスシー(1) エスメディサ(1) (治療コーディネーター)(1)

学生募集要項		選考方法	推薦入学	試験入学
募集人員	64人(男女)	願書受付	平成13年10月1日(月)~10月9日(火)	平成13年11月19日(月)~12月4日(火)
修業年限	3年	選考日	10月11日(休)	12月6日(休)
入学資格	高校卒業	合格発表	10月12日(金)	12月7日(金)
出願書類	入学願書、出身校の調査書、推薦入学の場合は出身校の推薦書	試験科目	「数I、化IB、生IB、物IBから2科目選択」・面接(推薦・一般共通)	

お問い合わせ 医技事務室 03-3381-0121

* 二期募集があります。 詳細は「学校案内」をご覧ください。

中学高等学校

「3H精神を実践し、国際性を身につける。」を教育目標として



中本 孝校長

「3H精神を
実践し、国際
性を身につけ
る。」を教育
目標として、

平成13年度が
スタートしま

した。森本厚吉先生が目指された、豊かで安定した文化的な生活を実践する女性、国際社会で活躍する自立した女性の育成という点を再確認して、教育「維新」の充実期としていきます。

授業評価と自己評価

そのためにはまず学力をつけることが大切と考え、今年度から新たに、「授業評価」と「自己評価」を取り入れました。教員と生徒の人格と人格が触れ合う中で、お互いの信頼の中で、各学期末に生徒が教員の授業を評価し、教員はそれを分析、整理して次の学期の授業を改善していきます。また、生徒は自分自身学習への取り組みがどうであったか、自己評価をします。教員はそれを参考に生徒の評価をつけます。これらによって、生徒が積極的に授業に参加

し、良い授業を自分も参加して作るという意識を育てるとともに、生徒が満足する授業にし、学習意欲を高めていきます。

中高共に授業公開

また、中学校父母対象の授業参観、高校の研究授業に加え、中高共に授業を公開し、広く一般の方々からの御意見、御感想をいただくことにしました。2学期は11月15日(木)・16日(金)の2日間、終日授業を公開します。

二〇〇二年新カリキュラムは

現行の内容を減らさず実施

いよいよ二〇〇二年度からスタートする新学習指導要領にあたって、東京文化では、中学校から入学の6か年コースの新カリキュラムを実施します。中学1年から高校2年までの5年間は、5教科を中心に現行の内容を減らさず、6年分を学習し、高校3年生で自分の進路に合わせて科目を選択し、国公立・難関私立大学に合格できる学力をつけていきます。

高校からの入学生は、英語・数学の習熟度別授業、2年・3年は

類型選択制を取ります。多様な進路に対応のⅠ類型と、難関私立大学受験に対応のⅡ類型に分かれます。二〇〇三年から始まります新课程は現在検討中です。ご期待下さい。

さらに充実した

講習・補習体制

こうした方向性をバックアップするために、今年度から平常の講習をさらに充実させました。月・火・木・金の放課後2時間、高校生対象に5教科の大学受験対策講習と、中高生対象の級別に行う英検チャレンジの講習を実施しています。さらに2学期からは土曜日にも定期的な講習を実施します。

夏期講習・冬期講習・夏期合宿講習も定着し、学習熱が高まりつつあります。また一方で、学習の遅れが目立つ生徒への補習も、各教科担当者が積極的に土曜日等に行

って全員の学力アップに努めます。

英語教育に力を入れて

むろん、受験や国際教育に大きなウエイトを占める英語教育に力を入れています。3名のネイティブスピーカーによる英会話授業、英検2級合格を目指す放課後の講習、中学3年生から参加できるカナダ研修旅行、現地での単位が認められる交換留学制度、その他、カナダの姉妹校生とベンフレンドになったり、Eメール交換をしたりして英語力を着実に伸ばしています。

また、月に1回行われている「イースターエッグ作り」や「英国とAfternoon Tea」などの異文化交流会も、中学生を中心に毎回盛況です。

さらに、9月から新しいコンピュータが導入され、ITによる世界との交流も検討していきます。

学校生活は生徒が主役

「スクールカラーは、私が決める。」のキャッチフレーズのもと、生徒が主役の学校生活を推進していきます。自由と権利が保障されると同時に、義務と責任を果たすことを学び、国際社会で通用する人格を養ってほしいと願っています。

中本校長は月に1回生徒会役員との意見交換の機会を持ち、生徒の声を聞き、生徒が満足する学校にしたいと考えています。これまでに制服のこと、授業のこと、生活

指導のこと、カフェテリアのことなど生徒からの率直な意見に耳を傾け、改善を心がけてきました。4月から可能になった自転車通学も、スペースの関係で希望者全員というわけにはいきませんが、生徒の声を実現した一例です。

こうした意見交換会が生徒会だけでなく、委員会やHR、教科学習の中でも活発に行われて、自分の考えや意見を発表できる女性に育ってほしいと願っています。

自国の文化を学び、多彩な行事で

「3H精神」の体得を

もう一つ大切にしているのが、自国の文化を学ぶこと。中学1年で茶道を、2年で華道を全員が学び、礼儀作法を身につけ、情操面を豊かにします。中学3年の修学旅行は「奈良・京都」で日本の歴史を学び、高校2年の「沖繩」を通して、平和とは何かを考えます。

今年度37回目の、すっかり名物行事になった「創作舞踊発表会」は、振り付け、音楽、衣装、当日の進行もすべて生徒達が行いますが、こうした行事をはじめ、球技大会、体育大会、学園祭、合唱発表会等の多彩な行事を通して、「3H精神」が体得されていくのです。

東京文化短期大学卒業の栄養士らによって提供される、中学生の完全給食や高校生のカフェテリアランチも生徒たちのスクールライフに彩りを添えているのは言うまでもありません。(長本)



第一希望の進路を実現する 進路指導

自己を認識し、社会を認識する事から、自分独自のライフプランを作るという「マイ・プラン」を一年生から取り組んでいます。

自立する女性として、職業を考へ、国際社会で活躍できる生き方を発見する為の六カ年の進路指導システムを活用して、第一希望の夢を現実のものとしてゆきます。

進路作文や進路ガイダンスノート、全国模試や適性検査等を通してさまざまな角度から自己を知る事になります。

また、大学の教員や本校の卒業生に來校していただき、大学や職業について話を聞く機会を増やしました。

学習面では講習や補習が定着しさらに生徒の希望があればいつでも個別指導に応じる教員のサポート体制も出来上がっています。

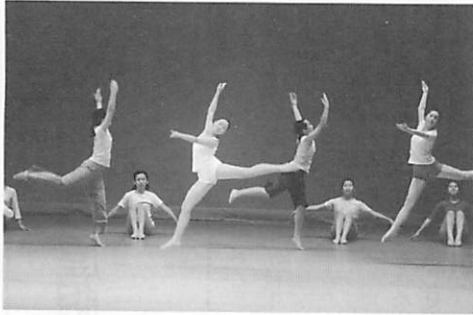
この様な指導によりAO入試・推薦入試・センター試験利用入試・一般入試まで多様化した入試選抜の方法に充分対応しています。その結果、二〇〇一年入試では

左のグラフのように現役生の四大進学率は10%以上アップしました。主な進学先は、東京理科大学・青山学院大学・中央大学・明治大学などです。

こうした実績の上に、本年度は四大への指定校推薦枠が拡がり、一〇〇名を超え、チャンスが一層増えました。

推薦は高校生活の充実度を評価するものであり、胸を張って高校生活を語れる生徒が求められています。小論文や面接によって自分を表現するプレゼンテーション能力が必要となりますので、小論文対策や面接練習によって能力を高めています。この様に一人一人を大切にした進路指導をしております。(勝田)

奨励賞 受賞 ダンスクラブ

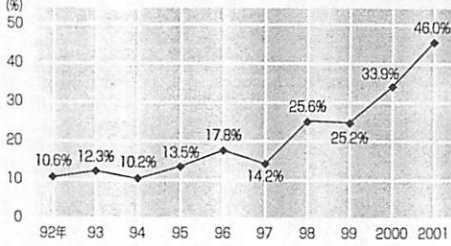


ダンスクラブは、6月24日(日)、なかのZEROホールで行われた第26回創作ダンス発表会(東京私立中学高等学校協会主催)で奨励賞を受賞しました。

「息・・・聞こえた」という作品で、それまで気づかずにいたお互いの気配を、はっきりと意識した時の感動を、モノクロのトーンで爽やかに演じました。

23名の構成メンバーの半分が中学生で、しかも半分以上音楽なしで、見事に息が合った演技は、水準の高さを感じさせるものでした。昨年に続く入賞は快挙でした。

■ 過去10年間の四年制大学進学率



平成13年度入試説明会

- | | |
|------------------|------------------|
| 中学説明会 | 高校説明会 |
| ①10/6(土) 14:00~ | ①10/27(土) 14:00~ |
| ②10/27(土) 10:00~ | ②11/10(土) 11:00~ |
| ③11/15(木) 10:30~ | ③12/1(土) 14:00~ |
| ④12/1(土) 10:00~ | ④12/8(土) 14:00~ |
| ⑤12/8(土) 10:00~ | |
| ⑥1/12(土) 10:30~ | |

- 体験入学(事前にお申し込み下さい)
- | | |
|------------------|------------------|
| 中学 | 高校 |
| ・12/16(日) 11:00~ | ・11/10(土) 11:00~ |
| クリスマス会 | カフェテリアランチ |
| スクールランチと | 国語・数学 |
| 国際交流 | (パソコン)・英語 |
| ・12/22(土) 10:00~ | |
| 入試問題の予測 | |

入 試 要 項

	中 学 校				高 等 学 校				
	1 回 目		2 回 目		セレクトツウ(午後)	推薦入試		一般入試	
募集人数	AM	PM	AM	PM	10名	A推薦	B推薦	2/10	2/11
	30名	10名	20名	10名		40名	20名	50名	20名
選抜方法 (入試科目等)	国語・算数・面接				国語・算数・社会 理科から2科目、 面接	作文 面接	適性検査 面接	国語・数学 英語・面接	
願書受付	1月20日~ 1月31日	1月20日~ 2月1日 13:30まで	1月20日~ 2月1日	1月20日~ 2月2日 13:30まで	1月20日~ 2月3日 13:30まで	1月18日~ 1月20日		1月25日~ 2月8日	
入学試験日	2月1日(金)		2月2日(土)		2月3日(日)		1月22日(火)	2月10日(日)	2月11日(祝)
	午前	午後	午前	午後	午後				
合格発表日	2月1日 17:00	2月2日 8:00	2月2日 17:00	2月3日 8:00	2月4日 8:00	1月22日 15:00	2月10日 17:00	2月11日 17:00	

※中学入試 セレクトツウ...4科目の中から2科目選択し、受験します。
合格者(140点以上)は全員入学金が免除されます。
※中高ともに3日スカラシップ制度(授業料免除)があります。
※本学園卒業生のお子様は、入学金を20%軽減します。

かやぶき屋根にいだかれて

小学校長 福田景三郎
幼稚園長

皆さんも色々な思い出があると思

いますが、宿泊行事は小学校生活の中でも最も印象が強く楽しみなことの一つと言えるでしょう。

今年には子供たちからの色々な声をふまえて教職員が頭をしほり体をしほり又一つ大きな夢を実現し夏の宿泊行事は三つ実施しました。

一つは第一回目のサバイバルキャンプ(高原寮で四・五・六年が参加)、二つ目は三十八回となる浅間高原学校(高原寮で二・三年が参加)、三つ目が第一回のじよんのびキャンプ(新潟県で四・五・六年が参加)が次々と開催され、みんな大自然の中で神様に見守られ友だちと先生に囲まれて共に楽しく意味のある共同生活を送ることができました。今回は、今年から始まったじよんのびキャンプについてご紹介したいと思います。

「じよんのび」ってどんな意味なのでしょう。もちろん方言ですが方言って何かあたたかいぬくもり、その地方地方の生きている鼓動がドキドキと伝わって来て胸に体にしんと染み込む気がします。ヒントとしてじよんのびキャンプの葉のページ目に記されている

ものを書きましよう。

「とびかうホタル

ブナ林の涼風

なびく田んぼ

「じよんのび」ってどんな意味の言葉なのだろう。

きつと、キャンプの終わりにはその意味が体でわかるはず

いつもいつも動いているのだから

たまには

動かない世界もいいか

静寂と

満天の星空と

鳥のさえずりと

自然のハーモニーとリズムを

ずんずんと全身にあびてこよう。」

これで「じよんのび」の意味は大体おわかりだと思えます。なぜこのように「じよんのび」という言葉をくり返し出したのかは、この言葉の中にこそ私たちがこのキャンプで求めているものが意味さ

れているからです。

今年の「じよんのび」

今年には42名の笑顔が参加しました。東京駅から上越新幹線で越後湯沢へ到着し、バスで一時間五十

分位乗って高柳町の門出ふるさと村のかやぶきの里に着きました。ここは、まわりを丘やゆるい山に囲まれ、どの方向にも見えるたぐさんの水田と畑が杉林や桐の樹々の間に広がっています。聞こえるのはセミの声、爽やかな緑いっばいの風の声、余計な音はありません。

民宿に改造したかやぶき屋根の農家に泊ります。大きなかやぶき屋根、黒く光る太い柱や梁、囲炉裏自在鉤、広い土間、ほっと落ちつく昔ながらの空間です。



みんなの笑顔がまぶしいぞー

早速、門出ふるさと村組合長の矢代さんやお世話して下さいる地元の方々にごあいさつ。

夕食は今日とれたてのナス、カボチャ、キュウリ、エダマメ、トマトなどが山盛り、鮎の塩焼きにも舌鼓。お米はもちろんコシヒカリ。外では村の方々が白でお餅つ

き。子供たちもかわりばんこにベツタンコ、そのおいしかったこと。最初の夜はホタル観察。かい中電灯を持って山道を下の田んぼの方へ歩いて行きました。あいにく途中から雨となり少しだけ見て今日は就寝。

二日目はカヌーと工作体験です。子供たちは二つのグループに分かれ、それぞれ午前中と午後と交代しながら挑戦します。カヌーは、専門のインストラクターからくわしく実地指導を受け、十分基礎練習をしてから一人ずつ自分専用のカヌーに乗りこみます。川は流れがほとんどなくゆったりと池みたいに安全です。

わらなわ作りは農家のプロのおじいさんのインストラクターが二人ついて下さり、魔法のようにわらをなわに変身させます。最初は呆然の私たちもしだいに名人級になりました。

夜は晴れたのでもう一度ホテルの観察に上の方の田んぼへ行き今度はたぐさんのホタルと出会えました。三日目は、二つのグループに分かれて紙すき体験とブナ林の自由遊びを楽しみます。これも午前と午後で交代します。紙すきは半紙の大きさに自分のつんだ花を入れて完成。ブナ林では走りまわったり、木登りをしたり時間が経つのを忘れるほど楽しい一時でした。とん汁とおにぎりのおいしかった

平成十四年度 児童募集

募集人員 男女①約40名 ②若干名
選考期日 ①11/9(金)・翌日発表
②11/21(水)・翌日発表
受付期間
①土・日・10/15・11/2・3を除く
①10/17(水)~11/6(火)
②11/13(火)~11/19(日)

*学園案内は配付中(有料)
◇帰国子女受け入れ
海外から帰国した児童の編入は空席等がある場合に、随時受け付け。ご希望の方は「帰国子女編入学案内」をご請求ください。

TEL 03-3381-0124
http://www.tokyobunka.ac.jp
東京文化小学校

こと。急ごしらえのかまどでまきで料理して下さった村の方々の気持が最高の味つけでした。夜はキャンプファイヤーと肝だめし。肝だめしはくらやみの夜空にワァー、キヤー、ヒエー、ギャーの四重奏。ゴールのすいかで人心地。四日間は夢のように過ぎていきました。朝起きてすぐ行った畑の野菜とり。エダマメ、ナス、キュウリの水々しさ、その甘さ。自然によって生かされている自分たちのことがよくわかりました。

ようちえんだより

「幼稚園だーいすきー」

赤ちゃんらしさを漂わせていた年少組の子どもたちもクラスのお友達との関わりの中で楽しい経験をしています。

ことりぐみ、こぐまぐみそれぞれの一学期のクラスの様子をお知らせします。

プールあそび

「今日はプールあそびでしょ。」
「やったあ」

晴れている日には、プールあそびの大好きな子ども達から、保育室に元気な声が、こだまします。思い思いに水鉄砲や大きなプールで、お友達同志、ルールを守りながらあそぶ、プールあそび。

「毎日プールだったらいいのに。」というほど、プールあそびは皆、大好きで、心待ちにしています。着替えも、毎日の自由遊びの中で慣れていることもあり、水着の着替えも、とてもスムーズでした。

プールから上がった後の着替えもお手伝いにかけて下さっているお母さまがいる中、「自分でやれるの。」と自分のことは、自分で責任を持ってやってみようとする心、小さ

いながらも、子ども達もこの三ヵ月で成長しました。

軽快なリズムに合わせて、かわいいミッキー体操をした後、いくつかの約束を聞いて、水鉄砲そして大きなプールと分かれて遊びます。ビニールのくまのプールの人形を水鉄砲で倒したり、お友達や先生の足をねらったり…。

お家では「水が少し顔にかかっただけで大変です。」とお母さまの方から報告を受けていたお友だちもあら、不思議。顔に水がかかってもなんのその、お友達と遊ぶプールあそびは特別楽しいよう、みんな笑顔で大はしゃぎでした。



楽しいプールあそび

すっかり水慣れした子ども達も、

浮輪を譲り合い、一列につながって、汽車のように泳いでいました。また、もう一つのお楽しみでもある先生の引っぱるゴムボートにも二人ずつ乗って回りました。途中大波がきたり、回ったりするのが楽しいのでしょ「もう一回乗りたい」と順番を待つほど人気の乗り物です。残念ながらプールに入れないお友達も楽しめるようにとアクアプレイの船あそびも設けています。プールに入れなくても、それなりに楽しめるよう、保育者の方で配慮しています。思い思いに、プールあそびを楽しんだ子ども達。そのかわいいた使の笑顔は皆、満足感でいっぱいでした。

輝やくひとみの奥には、子ども達だけの楽しい世界がそこにあることを、物語っています。子ども達の生き生きとした表情が見られるように私達保育者も温かく見守り、ひとりひとりの個性を大切に過していきたいと思えます。

(ことりぐみ 島田 美華)

「レストラン」こへ

いらっしやい

入園当初、不安そうに保育室に入ってきて黙って様子を見ていた「幼稚園、イヤなの。」と言っていた子供達も、すぐに慣れ、一ヵ月もすると、こぐま組では、十人がまとまった遊びを楽しそうに展開するようになりました。

朝のお支度が終わった子供から

ままごとコーナーに集まってきます。「入れてー」「いいよー」と初めは、なかなか言えなかつた言葉も合言葉のように言えるようになり、アーチをくぐって、おうちの中に入ってきます。キッチンセットの前に坐って、鍋にフェルトの野菜を入れて煮込む子供、テーブルのお皿をきれいに並べてお料理が出るのを待つ子供、それぞれがその持ち場を楽しんでいます。

ある時、ままごとコーナーの横に、テーブルセットを置きました。すると、さっそく、「レストランごっこ」が始まりました。お客様役が、「すみません。ジュースとハンバーグください。」「オムライスお願いします。」と言うと、レストラン役が「はい、お待ちください。」とキッチンセットの前で、ハンバーグを焼きお皿の上のせて、「はい、どうぞ。」「お待ちたせしました。」「いただきます。」

時には、注文していないピザや果物、レストランお勧めの煮込み料理が鍋ごと出てきたりもします。それでも、子供達は、とてもおいしそうにいただき、作った子供もうれしそうな顔を見せ、ほほえましく感じます。

きちんとテーブルセットイングをし、フォーク・スプーンを並べたり、使った食器を洗ったり、実生活での様子をよく見ているなど感心させられることもあります。

食べ終わった食べ物が散乱しているのを見て、「こんな汚いレストランじゃダメだよね。」との声に、お客様役もレストラン役も一緒に片付けました。そして、「今度はレストランの人やる。」「私はお客様。」と役割を交替し、次の日も次の日もレストランごっこが続きました。

友達との遊びを通して、一人一人が役割を分担し、それに満足感を得て楽しんでいる様子は、この時期に好ましいことです。二学期以降、どんな遊びが展開し、成長していくのか楽しみます。

(こぐまぐみ 松下えり子)

平成十四年度

入園志願者のための

公開保育・説明会

公開保育 十月十八日(休)

9時30分～11時

入園説明会 十月二十四日(休)

午後1時30分～3時

入園児諸検査 十一月一日(休)

3歳児男女 40名

4歳児男女 約10名

5歳児男女 若干名

を募集します。幼稚園案内を配付いたします。

お問い合わせ

東京文化幼稚園

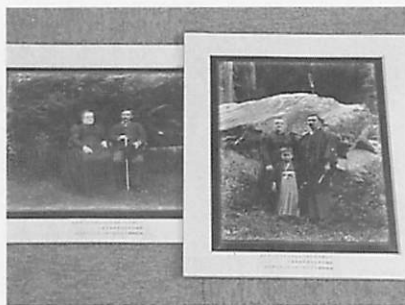
〇三ー三三八一ー二八三

新渡戸博士の足跡を訪ねて

—カナダの旅—

理事長 森本晴生

八月三十日から新渡戸博士の足跡を訪ねるカナダの旅に参加しました。これは盛岡市の新渡戸センターが中心となり、本学園が協力している財団法人新渡戸基金の内川事務局長、盛岡市先人記念館の及川館長など、主に岩手県関係の方々が参加しました。本学園の同窓会岩手県支部にはご案内が遅くなったこともあり、参加がなかったことはチョット残念でした。



ホワイト博物館にある2枚の写真の複製

○バンフ
バンフではホワイト博物館を訪問しました。ここはホワイト夫妻がロッキーに関する記録や芸術品を個人的に集めたものを保存している私立の博物館です。私がカナダ研修の高校生と一緒に平成三年に訪問したときに、一八九七年に撮影された新渡戸稲造先生の写真が二枚あるのを見せていただき、複写を送ってもらったところです。

今回はこの二枚の写真の由来を調べるのが目的の一つでした。新渡戸基金と先人記念館か

ら事前に依頼状を出してあったので、学芸員のオザワさんが説明してくださいました。

説明によると、ホワイト博物館にはこの写真以外には新渡戸先生に関する資料はまだ見付からないそうです。この写真が撮影されたヨーホーのグレイシア・ハウス（訳すと「氷河館」とは、レイク・ルイーズから二十キロほど西のヨーホー駅前にあったホテルの名前でした。当時はバンクーバーからカナダ太平洋鉄道の旅客列車が通っていて、お金と時間に余裕がある人達が一月ぐらい保養に来ると

ころだったのです。

当時、カナディアン・ロッキーでこのような場所は、グレイシア・ハウスと、バンフのバンフ・スプリングス・ホテル（現存）の二か所だけだったので、新渡戸先生の資料を探すとすれば、当時の新聞や、ホワイト博物館に集められた手紙類を読んでいくと、発見できる可能性はあるそうです。

当時の新聞には、誰がどこに旅行したなどという個人情報まで出ているのですが、撮影日前後には新渡戸先生に関する記事はない、とのことでした。

○バンクーバー

プリティッシュ・コロムビア大学（UBC）のアジアセンターの司書をしている権並恒治さんから、UBCにある新渡戸記念庭園の説明を伺いました。ここには日本の資料十三万冊を含む、アジア関係の資料が四十万冊収納され、カナダで最大、北米で十番目の規模だそうです。新渡戸先生が昭和三年に亡くなり、翌年に北米の関係者が大阪で石灯籠を作らせてUBCに寄付して日本庭園を作ったのがもとになっています。昭和三十五年日本庭園を作



新渡戸記念庭園の入口の「表札」

り直すことになり、当時のマツケンジ総長が石灯籠を移設して新渡戸記念庭園として現在に至っています。

新渡戸基金の内川事務局長の説明では、「人と人をつなぐ絆」の意味で、あえて「記念」の文字を使ったのだそうです。

市内で泊まったホテルの向かいにあった聖アンドリュース・ウエスレー教会は、昭和八年の五月にできた教会で、その年の十月に新渡戸先生の告別式が行われたところでした。偶然でしたが、驚きました。

同窓生のホームカミングデー

学園では、同窓生の皆さんと学園教職員との親睦を図り、現在の学園の状況をご理解いただくために、ホームカミングデーを計画しました。当日は旧職員

の先生方もお招きしています。多数の皆さんの参加をお待ちしております。

一、日時 十月十四日（日）
午後一時から
校内見学

二、場所 学園小体育室、ガーデン、カフェテリアほか

三、内容 オープニングセレモニー
学園理事長挨拶、各校長現
（財）新渡戸基金と学園の主催で、「新渡戸精神を語り継ぐ集い」を学園大体育室で開催します。

会計報告

一般会計収支(平成12年度) (円)

資産残高(平成13年3月31日) (円)

収入	会費収入他	9,380,516
	前年度より繰越	6,676,545
	計	16,057,061
支出	諸費用	11,218,712
	次年度へ繰越	4,838,349
	合計	16,057,061

一般会計	現預金	31,717,877
事業部会計	現預金	23,465,018
旅行部会計	現預金	717,478
会報部会計	現預金	877,574
文化部会計	現預金	529,954

東京文化学園同窓会理事名簿

平成13年10月1日現在

会長	湊 くに	175-0094	板橋区成増4-21-3	☎03-3930-6011
副会長	長 岡 文	227-0061	横浜市青葉区桜台25-1 4B-202	☎045-982-1153
"	石川 悦子	114-0004	北区堀船3-34-8	☎03-3919-5898
会計監査	赤木 君江	160-0011	新宿区若葉2-8-7	☎03-3351-4666
"	青木 純子	176-0024	練馬区中村3-5-16	☎03-3999-4212
専門部				
幹事長	中川 悦	169-0073	新宿区百人町1-21-9	☎03-3361-6474
副 "	篠原 初江	187-0002	小平市花小金井2-31-23	☎0424-65-1997
副 "	黒澤 教子	167-0032	杉並区天沼2-15-2	☎03-3391-7351
副 "	藤原 芳江	164-0003	中野区東中野5-20-14	☎03-3371-4506
短大部				
幹事長	長井 康子	176-0013	練馬区豊玉中2-25-10-203	☎03-3994-1523
副 "	五十嵐佳寿子	272-0813	市川市中山2-8-8	☎0473-34-2354
副 "	高橋 芳子	166-0002	杉並区高円寺北2-7-6-304	☎03-3337-1401
副 "	森 孝子	277-0921	東葛飾郡沼南町大津ヶ丘2-13-1	☎0471-92-1151
副 "	富士 ひろみ	161-0032	新宿区中落合4-21-4	☎03-3950-5489
医技部				
幹事長	相賀 静子	321-2345	今市市木和田島高内1373-289	☎0288-26-9240
副 "	園田 孝子	190-0003	立川市栄町2-34-8	☎0425-36-5342
副 "	宗村 サト	224-0066	横浜市都筑区見花山22-18	☎045-941-6518
高女・高校部				
幹事長	竹の谷 智子	270-0114	流山市東初石1-108	☎0471-55-1619
副 "	伊藤 美和子	167-0032	杉並区天沼2-36-22	☎03-3398-0062
副 "	多胡 愛子	112-0011	文京区千石4-34-7	☎03-3946-9980
副 "	三雲 保子	166-0012	杉並区和田1-67-17	☎03-3381-1049
副 "	渡部 睦子	166-0011	杉並区梅里2-7-21	☎03-3312-3663
副 "	宮本 姉美子	179-0075	練馬区高松1-4-9	☎03-6760-0235
副 "	井元 喜代枝	461-0012	中野区本町1-32-1-701	☎03-3372-9833
小学校				
幹事長	森本 光生	166-0012	杉並区和田1-64-5	☎03-5385-7670
副 "	新倉 徹也	164-0012	中野区本町6-22-11	☎03-3381-0642
				夜間 ☎03-3229-2186
副 "	能村 佳子	166-0012	杉並区和田1-28-7	☎03-3384-0364
副 "	土田 宏子	176-0001	練馬区練馬4-18-21-609	☎03-5999-2720
特別理事			内線番号	自宅☎
	森本 晴生	☎259:252		☎03-3939-8171
	小松 洋子	☎224		☎0423-84-5661
	大島 恵子	☎284		☎03-3229-4772
	佐伯 かよ子	☎3381-0121	医技	☎0423-26-1247
校内理事				
	谷口 美穂子	☎244		
	石森 真子	☎229		
	石井 裕子	☎261		
	松川 晃子	☎3381-1184	小学校給食	
事務局				
	同窓会	☎232		
	小暮 明子	166-0003	杉並区高円寺南3-13-11	☎03-5305-6550

学園祭には 同窓会館へ

11月2日(金) 午前10時から
3日(土) 午後3時まで

同窓会では、今年もバザー、皆さんから寄せられた作品の展示、喫茶、売店等で学園祭に参加します。

喫茶店では、お団子やお汁粉の販売、売店では好評の二色弁当をはじめフランクフルトやかまぼこも販売します。例年どおりポップコーンもつくりまします。ぜひお立ち寄り下さい。

バザーに献品いただける方は「バザー」と明記して同窓会へお届けください。

作品展示にご出品いただける方は、品目と数をご連絡の上、

年会費納入のお願い

一昨年より年会費の納入について、一括払いの制度を設けました。

一括納入された場合、以後、年会費の納入は不要です。

①年払い 年額一、〇〇〇円

②一括納入 一〇、〇〇〇円

なお、年会費は同窓会の運営費です。どうぞその点、ご理解いただき、全会員がお忘れなくお納めくださいますようお願いいたします。

払込用紙の記入について

卒業校別の略称項目に、必ず〇印を付けてください。

卒業年月と会員登録番号

(宛名のラベルに記載あり)をお忘れなく。

お名前は楷書で。毎年記入もれが多く調査に困惑しております。正確にご記入ください。

*不明の点は、同窓会事務局(担当・黒澤)へ

平成十二年度会費一括納入者数

小学校	10名
高等学校	40名
高女	11名
短大	94名
専門	13名
医技	40名
B	1名
A	209名
計	209名

(平成13年4月1日現在)

既に一括納入された方に振込用紙が封入された場合は破棄していただき、手違いをご容赦ください。

「作品展示」と明記して同窓会へお届けください。ご希望により作品の即売もいたします。献品 作品は10月25日まで。

十三年度 国内旅行 草津温泉の旅

今年度の国内旅行は、草津温泉への一泊旅行を計画しました。詳細は次の通りです。

日程

九月三十日(日)

新宿→渋川IC→渋川市(昼食)→片岡鶴太郎美術館→草津温泉(泊)

十月一日(月)

草津温泉→鬼押出し園(トイレ休憩)→軽井沢(アウトトレット・旧軽銀座散策)→(洋食ランチ)→碓井軽井沢IC→軽井沢経由→東京・新宿駅

費用 二万六千円

一日目の昼食は、渋川の「時代屋」で、釜飯をいただきます。片岡鶴太郎美術館見学を楽しみにされている方も多いはず。草津温泉でのんびり汗を流し、二日目は軽井沢へ。夏の混む時

謹んでおくりやみ 申し上げます

物故者 氏名(敬称略)	氏名(敬称略)	氏名(敬称略)
専6 菅野 郁子(大井上)	専6 菅野 郁子(大井上)	医40 箕輪 深雪(古川)
専7 武田須奈子(牟田)	専7 武田須奈子(牟田)	医41 東理 俊子(山本)
専7 中尾 良子(森)	専7 中尾 良子(森)	医52 田中 庸子
専8 白井スエノ(宮原)	専8 白井スエノ(宮原)	女3 小原日出子(山田)
専8 日向喜美子(高桑)	専8 日向喜美子(高桑)	女3 岡本 サク(岩田)
専12 沼崎 梅子(豊島)	専12 沼崎 梅子(豊島)	女5 田中 忠子(広岡)
専17 飯島 ひろ	専17 飯島 ひろ	女10 長野 英子(三木)
専18 窪田 巴(川口)	専18 窪田 巴(川口)	女13 南雲 照代(入江)
専19 根元 好子(原)	専19 根元 好子(原)	女18 飯嶋 やす
専20 成田 紀子	専20 成田 紀子	女19 尾形しづ子(鈴木)
専24 坂尾 清子(平沢)	専24 坂尾 清子(平沢)	女21 本多 照子
専26 村井美佐子(藤井)	専26 村井美佐子(藤井)	高28 頓宮 許子(橋本)
短28 川上 幸子(若林)	短28 川上 幸子(若林)	高30 尾崎久美子(田中)
短29 白沢 匡子(蒲生)	短29 白沢 匡子(蒲生)	高31 仲田 勝子(仲田)
短32 綾部 亨子(神部)	短32 綾部 亨子(神部)	高44 東林由美子
短50 武藤 保子	短50 武藤 保子	高53 石坂 智子(中島)
短60 内田 佳世	短60 内田 佳世	高H7 高橋 奈歩
短61 竹田 雅美	短61 竹田 雅美	
短61 柴田安基子	短61 柴田安基子	

小熊 辰夫先生(短大) 教職員等

期とは違い、ゆつくりと散策できることでしょう。万平ホテルのランチも楽しみの一つです。例年どおり、ゆとりある日程を組んでいます。

国内旅行は二年に一度の開催となっております。多数の同窓生の参加をお待ちしております。

発行所 東京都中野区本町
6-38-1 〒164-8638
東京文化学園同窓会
電話 03-3381-0196
(内線 232)
FAX 03-3381-7866

発行人 設 くに
編集人 育木 純子
印刷所 株式会社 神木印刷